

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	18005	都市開発資金貸付金事業		課名	都市整備課 亀山駅前整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 30 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等		都市計画法、都市再開発法、都市開発資金の貸付けに関する法律		

目的・概要	対象	市街地再開発組合
	目的	JR亀山駅周辺において再開発事業を行う市街地再開発組合に対し、再開発事業に必要とする資金の一部を貸し付けることにより、同組合の円滑な事業推進をサポートする。
概要	都市開発資金の貸付けに関する法律に基づき、市街地再開発組合が行う事業に必要な資金の一部について、国の貸付金制度を活用して貸付を行う。 (貸付利息:無利子、償還期間:8年、償還方法:一括償還)	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	都市開発資金貸付金 ・2ブロック地区市街地再開発組合への貸付				
	都市開発資金貸付金 ・2ブロック地区市街地再開発組合への貸付				
事業の計画・実績	計画額	事業費	50,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	43,700千円		
		その他			
事業費	予算額	一般財源	6,300千円	0千円	0千円
		事業費	50,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	43,700千円		
決算額	決算額	その他			
		一般財源	6,300千円	0千円	0千円
		事業費	50,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
人件費	人件費	地方債	43,700千円		
		その他			
		総人件費	235千円	0千円	0千円
		一般職員	235千円	0千円	0千円
		所要人員	0.03		
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
		総コスト(+)	50,235千円	0千円	0千円
		受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	市街地再開発組合への貸付額(累計)	計画値 150,000			
			実績値 150,000			
			単位 千円			
	名称	市街地再開発事業の進捗状況	計画値	権利変換計画認可	2ブロック施設建築物着工	2ブロック施設建築物竣工
		2ブロック地区市街地再開発事業の進捗状況	実績値	権利変換計画認可		
			単位			
名称		計画値				
		実績値				
		単位				

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 組合の事業進捗を適時把握し、貸付金の貸付けを適切に実施する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 組合との連携を図り、事業の進捗状況を適宜把握し、9月に貸付を実施した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 組合による業務発注に伴う支払い等の資金確保のため、組合に対して貸付金の貸付けを行った。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 事業資金の運用が図られることにより、組合における業務が実施され、市街地再開発事業が推進された。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 貸付金の償還が適切にされるよう、市街地再開発事業の促進を図る。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 令和元年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 組合と連携し、適切な市街地再開発事業の進捗を図る。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 本事業に必要な資金の確保が図られ、市街地再開発事業の推進が図られる。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 藤尾 春樹
【最終評価者】	産業建設部 都市整備課長 田所 学

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	A	A		
	成果	/	A	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳	
内訳	予算額(事業費) 50,000 千円
	平成30年度からの繰越額 千円
	令和元年度の最終予算額 50,000 千円
	令和2年度への繰越額 千円